



環境技術で協創する、 サステナビリティ

二酸化炭素の排出削減、再生可能エネルギーの普及、廃プラスチック問題対策など、21世紀に入ってから、環境問題への対応は世界の不可逆な流れとして定着し、さらに強く大きくなっています。これまで、わたしたちは事業活動を通じて、一貫してエネルギー供給と環境との調和という課題に取り組んできました。総合エンジニアリング事業では、世界各地に LNG（液化天然ガス）プラントを建設し、化石エネルギーの中で最も環境負荷の少ない天然ガスの利用を拡大。また、太陽光発電プラント建設により、再生可能エネルギーを普及促進。さらに機能材製造事業でも、電気自動車のパワーユニット向け放熱基板や、化粧品向けマイクロプラスチック代替素材の製造など。そして今、わたしたちは、開発中の将来性ある環境技術のスピーディーなビジネス化を目的に、サステナビリティ協創部を設置。組織を超えてバリューチェーンを構築し、環境ビジネスを“協創”することで、持続可能な社会の実現に、これまで以上に貢献していきます。

MISSION DRIVEN.

世界に課題があるかぎり。

JGC 日揮ホールディングス株式会社

<https://www.jgc.com/jp/>

総合エンジニアリング事業
(海外オイル＆ガス事業、海外インフラストラクチャー事業)
日揮グローバル株式会社ほか

総合エンジニアリング事業
(国内エンジニアリング事業)
日揮株式会社ほか

機能材製造事業
日揮触媒化成株式会社/日本ファインセラミックス株式会社ほか

環境コンサルティング事業
日本エヌ・ユー・エス株式会社ほか

その他
グループ会社 83 社